

令和元年度第2回奈良市教育委員会施策評価懇談会の意見の概要	
開催日時	令和元年 7月23日(火) 午前11時から午後0時まで
開催場所	奈良市教育センター8階 中講座室
意見等を求める内容等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 外部評価者から事前に提出された質問・意見に対する対応の確認</li> <li>・ 外部評価者と教育委員との意見交換 <ul style="list-style-type: none"> <li>①教育委員と教育現場の連携について(シート1-5関連) 富雄第三小中学校保護者との意見交換会について (地域と学校との連携)</li> <li>②子どもの安全安心について(虐待・不登校・引きこもり等)</li> <li>③AIなどへの関心が高まる中での対応について</li> </ul> </li> </ul>
参加者	<p>【外部評価者】仲林 真子、橋崎 頼子</p> <p>【教育委員】中室雄俊教育長、都築由美委員、畑中康宣委員、柳澤保徳委員、岡本充智委員</p> <p>【教育委員会事務局】10名</p>
開催形態	公開 (傍聴人2人)
担当課	教育部 教育政策課
<b>意見等の内容の取り纏め</b>	
<p>シート1「教育委員会の活動」、シート2「教育委員会が管理・執行する事務」について、内容確認の後、外部評価者と教育委員で意見交換を行った。</p> <p>≪意見を求めた内容及びそれらに対する意見等≫</p> <p><b>1 外部評価者から事前に提出された質問・意見に対する対応の確認</b></p> <p>シート1「教育委員会の活動」、シート2「教育委員会が管理・執行する事務」について、外部評価者から事前にいただいた意見を反映した内容となっていること、他に質問・意見がないことを外部評価者に確認し、了承を得た。</p> <p><b>2 外部評価者と教育委員との意見交換</b></p> <p>(1) 教育委員と教育現場の連携について(シート1-5関連)</p> <p>富雄第三小中学校保護者との意見交換会について(地域と学校との連携)</p> <p>教育委員から、以下のような意見があった。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「今後、他の学校区においても保護者や保護者組織とどのように関わっていくのが課題となることから、直接保護者から意見を聞いたことは良い機会になった。」</li> <li>・「学校が中心となってPTAや地域住民に連携を持ちかけ、それに地域が答えるという形が出来すぎている印象を受けた。学校が多忙化している中で、いろんなサポートの仕方が有り得るのかなと感じた。」</li> </ul>	

外部評価者からは、「学校現場、保護者との意見交換を通して地域と学校との連携の実情がわかる機会であると思う。地域の役割、学校の役割を考えていく上でも貴重な場であると思うので、継続して教育委員と学校現場の連携を図ってほしい。」との意見があった。

## (2) 子どもの安全安心について（虐待・不登校・引きこもり等）

教育委員から、以下のような意見があった。

- ・「子ども達が何を悩んでいるのか共有することが大事である。子どもにとって最善の方法をとらなくてはならないが、個人情報のようなデリケートな問題をどのように扱うのかが問われる。」
- ・「教員一人で抱え込まず、教員と管理職の関係性を高めていくことが必要である。学校の中の関係性を高めることが、この問題を解決するきっかけになるのではないと思う。」
- ・「学校だけでは解決できないことに、行政がどのように支援するかが求められており、スクールカウンセラーやいじめ対応支援教員の配置のような支援の仕組みづくりを行っている。」

外部評価者からは、「個人を守るために個人情報に壁になってしまうことが課題となることから、学校と民間団体との連携が難しいように思う。また、求められていることは、一人一人の子どもの状況に対応することが重要だが、それが難しい。」との意見があった。

## (3) AI などへの関心が高まる中での対応について

教育委員から、以下のような意見があった。

- ・「AI を活用して、子ども達の結果だけを見るのではなく、学びのプロセスを見ることができるようになれば、より高度な教育が展開できそうにも思うが、それに負けないような力を持つことが教員に求められる。」
- ・「AI 時代の学校の在り方も見据えて、教師の資格認定も抜本的に見直すことも必要である。」
- ・「人間しか持っていない感覚、感じる力を磨いていく教育も必要かと思う。」

外部評価者からは、「知識、理解を身に付けて、その先に何をするのか意識して考える事が必要であり、目標を立て、批判したり、振り返ったりして、次の目標を立てる力が必要であり、教育は人間の力、人であるということが理解できた。」との意見があった。